

おきなわ・海歩き 第6回

サンゴの森

鹿谷麻夕（しかたに・まゆ）

サンゴ礁の浅瀬は、干瀬、方言でピシと呼ばれます。宮古島の八重干瀬^{やえびし}は有名で、旧暦3月の浜下りの頃にはたくさんの人が船を出してこの干瀬を訪れ、生き物を観察したり貝やタコを採ったりします。でも、初めて沖縄の海を訪れる人には、海に行ってもどれがサンゴがよくわからないと言われます。サンゴとはどんな生き物なのでしょう。

実は、サンゴはクラゲやイソギンチャクの親戚で、刺胞という小さな毒針を持つ特徴があります。クラゲが逆さまになって底にくっついたのがイソギンチャク、さらに石のような骨格を持ったのがサンゴです。サンゴの骨格はギザギザしていてケガをしやすく、さらに毒針があるのですから、素手で触ってはいけません。

生きている身の部分は、骨格表面のごく薄い部分だけ。その身の中に褐虫藻という植物プランクトンが共生して、光合成をします。サンゴはその栄養を分けてもらいながら、炭酸カルシウムの骨格を作り成長していきます。サンゴが死んで骨格が固まったのが、沖縄で石塀^{グスク}や城を造るのに使われた琉球石灰岩です。つまり、サンゴは日光を浴びて石を作る動物なのです。

サンゴの体は、集合住宅のような作りをしています。まず、各部屋はカップ状の形をしていて、ここにポリプと呼ばれるイソギンチャクのような個体があります。ポリプは次々に分裂して増えて、集合住宅のような群体を作ります。この群体が、初夏の夜に一斉産卵をする光景はテレビ等でご覧になったでしょうか。さて日を浴びて大きくなった群体は、隣のサンゴと接触すると場所取りのケンカもします。なんとポリプから、特別な強い毒針を持つ触手を伸ばして隣のサンゴを攻撃するのです。攻撃された方は組織が傷むので、それ以上そちら側には



写真1 ミドリイシの枝の先端

成長できません。

サンゴには実に様々な種類と形があります。木の枝のようなミドリイシの仲間は、枝の先端のポリプが1つだけ大きいのが特徴（写真1）。名前の通り緑色のもあれば、ピンクや紫もあります。茶色で丸いかたまり状のはキクメイシの仲間（写真2）。干上がった後も割と平気で、浅瀬に多く見られます。部屋の一つ一つが穴ぼこのよう。



写真2 キクメイシの仲間

サンゴは、昼と夜では様子が一变します。昼に見ても動きのないサンゴ、実は、夜にはポリプがたくさん触手を伸ばし（写真3）、漂う餌を捕まえてはポリプの真ん中の口へ運んでいきます。昼は植物のように光合成、夜はイソギンチャクのように餌を取る、結構便利な生き物かもしれませんね。



写真3 夜のサンゴは触手をゆらゆら

山に木々が生えて森をつくり、そこで多くの生き物が暮らせるのと同じで、熱帯の浅い海ではサンゴの群落が森のような役割を果たし、他の生き物達の大切な餌場や住み家になっています。ハマサンゴの表面に白い傷跡がたくさんついているのを見つけました（写真4）。これは、くちばしのような歯を持つブダイという魚が、サンゴの身の部分を削り取って食べた跡。上下の歯でガ



写真4 ブダイがハマサンゴをかじった跡

リッ、ガリッと噛んだ様子が分かります。サンゴを餌にする生き物は結構いて、枝サンゴのすき間には、1センチ足らずのサンゴガニの仲間がサンゴの粘液を食べつつ、すき間を隠れ家に使っています。自分のサンゴがオニヒトデに襲われると、このカニは小さなハサミを勇猛果敢に振るって巨大なオニヒトデを撃退するので有名です。他にも枝サンゴのすき間にはエビなどたくさんの小動物が住み、スズメダイなどの小魚が群れ、それを狙って大きな魚もやってきます。

かたまり状のサンゴには、穴を開けて住みつく生き物もいます。ハマサンゴの壁からきれいな花を咲かせているのはイバラカンザシというゴカイの仲間（写真5）。花のような部分は鰓冠といい、水中に漂う餌を捕まえます。そっと触れると一瞬で引っ込んで、ちゃんと蓋をします。それから死んだサンゴの上には、シャコガイの仲間が住み着くことも（写真6）。輝くようなブルーやグリーンのはだには、サンゴと同じく褐虫藻が共生して、やはり光合成の栄養分をもらっています。



写真5 イバラカンザシのオレンジ色の鰓冠と茶色のふた



写真6 ヒメジャコガイの外套膜は宝石のよう

沖縄島の干瀬も30年前までは、歩くすき間がないくらいに生きたサンゴでびっしりと覆われていたそうです。1970年代以降のオニヒトデの大発生と、98年の高水温によるサンゴの白化という現象で、沖縄島のサンゴは大きな打撃を受けました。サンゴは、日の光が届く浅瀬と濁りなく透き通った海水が流れる場所で元気に育ちます。今は、新たに生えてきたサンゴが小さな群体をあちこちに見せ始めているところ。このサンゴが大きくなり、たくさんの生き物が暮らす海の楽園が復活するように願っています。だってサンゴ礁は本当に美しくて面白いのですから！